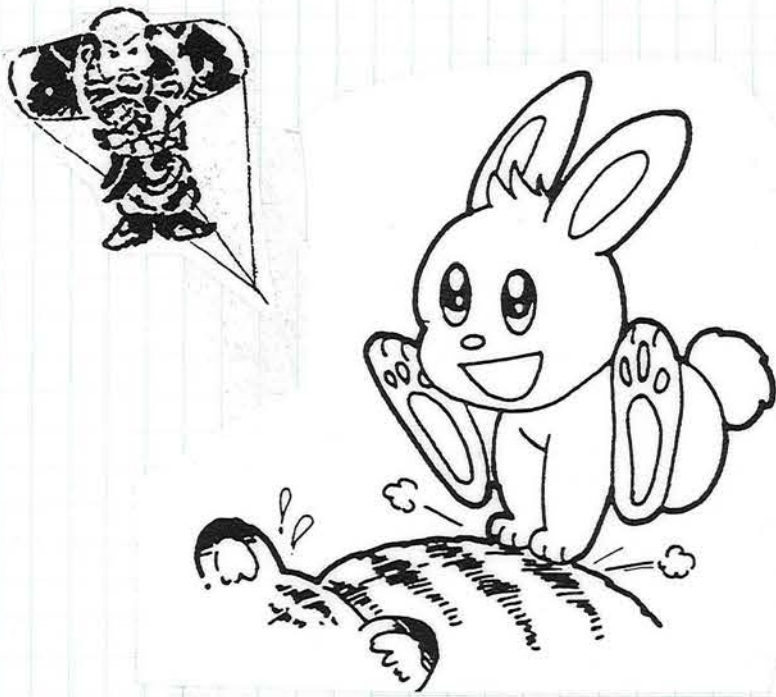


新喜も寿が、  
清んでご祝詞も  
申しあげます

本年も相変わらず

宜しくお願い申し上げます



一九九九年 元旦

消費から生産へ向けて

今年も頑張りましょう

通院介護センター「さわやか」

会長 江頭 博幸

楽しさも 中くらいなり おらが春 (一茶)

心の底から、今年も皆様にあって、素晴らしい年になりますように、素直にいい社会情勢があります。小淵総理は「景気回復の兆しの兆しが見えてきた」と国民を励まされますが、何となく信じる気にはなれません。

日本経済は先の見えないトンネルに入っているようです昔のようなバブル経済は望べくもありません。今が普通と考へなくてはならないとおもいます。国民は、消費経済だ、バブルだと騒いでも、もう騙される人はいないでしょう。浮かれまくって消費消費と無駄使いをし、ブランド指向、海外旅行、消費ムードで、第二次産業のみ発達しました。

国民生活の基礎は、第一次産業＝生産が中心に座るべきだと思ひます。生産はおろそかにして消費にばかり目がいってしまっていないでしょうか。政府は日本の米は余って仕方がないと減反政策をとっています。正月に東北で一番の農家で三代続けて百姓をしている名生さん一家が書いた本を読みました。その中で、名生さんは、「今は、米が余っているが、あと五年したら、百姓をする人がいなくなるよ」「今、農家を支えているのは五から六十代の人だよ」と。この本を読んで私はゾッとしました。

新年早々暗い話で申し訳ありません。でも、そろそろ、生産中心の世の中にならないとおもいます。皆様は如何ですか？

透析患者も治療費の有料化が叫ばれました。高齢者子供、障害者など社会的弱者が温かく見守られている社会は平和な社会です。いざ、戦争になれば、社会的弱者は、

最初に邪魔者扱いされます。

ボランティアの皆様！ 社会的弱者がいつまでも大切にされる世の中つくりのため、今年もご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

新年明けまして

おめでとうございませす

通院介護センター「さわやか」

コーディネーター

八幡事業所 山田 浩美

小倉事業所 梶原 待子

ボランティアの皆様、利用者の皆様には、お変わりなく新年をお迎えのことと思ひます。

昨年は無理なことと思いつつボランティアをお願いしたり、色々迷惑をおかけしたことも多々ありました。

「さわやか」も三年目を迎え、今年こそはコーディネーターとして、広い心を持って、スムーズに、快く「さわやか」を活用していただけるように努力していく心づもりでございます。

「さわやか」のボランティア活動はとても地味な活動ですその地味な活動をコツコツとやっていたら、ボランティアさんには、本当に感謝しております。

ボランティアの皆様！ 人生の先輩として、ご意見、アドバイスなどございましたら、ぜひ声をかけて下さい。

「さわやか」の今後の発展にはボランティアさんの、ご力なくしてはありませせん。どうか末永くよろしくお願ひ致します。事務局員一同 謹言(？)で頑張りませす。今年もよろしくお願ひ致します。